

事務事業名		市営住宅改善事業(下水道接続工事)		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登載事業	<input checked="" type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業
政策体系	政策名	0:1: 潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間	
	施策名	0:2: 良好な生活空間の創造			
	基本事業名	0:3: 住宅環境の整備		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成12 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度 ↓ 全体計画欄の総投入量を記入	
根拠法令		下水道法、公営住宅法、地域住宅交付金関係法(H17 79号)他		01 08 06 03 03	
所属	部課名	都市整備部都市計画課		全体計画 (期間限定複数年度のみ)	
	係名	建築住宅係	電話内線 326		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 下水道供用開始区域内にある市営住宅について、下水道法等に定める接続期限である供用開始後の3年以内までに、地域住宅交付金等の財源を活用して、接続工事及びトイレの水洗化工事等を行い、入居者に良質な居住環境を提供する。なお、下水道供用開始区域は、現在拡大中だが、その区域内に市営住宅がない場合は、工事費の支出等はない。電気・排水等の設備に関しては、他課の技師の協力により実施している。 また、下水道供用開始区域内にある市営住宅敷地について、下水道受益者負担金の支払いがある。主な業務は、地域住宅交付金の申請及び関連事務、下水道接続工事に係る設計・施工業務及び下水道受益者負担金の支払い事務等である。 事業費は、住宅の下水道接続工事及びその附帯事務費、負担金に支出される。				総投入量 (千円) 事業内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計 (A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計 (B) 0 トータルコスト(A) + (B) 0	

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 地域住宅計画変更 県によるアタリ聴取 地域住宅交付金申請 (交付決定後) 工事設計・施工 場合によっては工事変更設計 工事代金支払 国庫補助金請求・受け取り 補助金完了報告。 下水道受益者負担金申告書提出 支払い。		ア 交付金申請等回数 回 イ 下水道受益者負担金申告書枚数(賃借地を含む) 枚 ウ 起債申請件数 件	
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年の上記ア、イに加え地方債を財源とする予定としていることから起債関係事務が加わる。		対象指標 (対象の大きさを表す指標) カ 下水道供用開始区域内の市営住宅総数 戸 キ 受益者負担金支払対象となる団地数 団地	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 下水道供用開始区域内の市営住宅(建物)、受益者負担金支払対象となる団地数。		ク 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標) サ 年度内改善工事実施戸数 戸 シ 下水道受益者負担金支払済団地累計数 団地 ス 起債が認められた件数 件	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 市営住宅のトイレ・台所等の排水設備の改善により、入居者が快適に暮らせるようにするとともに、併せて室内の段差解消、手すり設置などを行い、高齢者等にも対応。			
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) より衛生的で良質な市営住宅を提供する。			

(2) 総事業費・指標等の推移

		年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(目標)	22年度(目標)	
		単位							
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円	1,022		3,539	4,941		
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円				6,000		
		その他	千円						
		一般財源	千円	1,143	444	8,855	3,192		
		事業費計 (A)	千円	2,165	444	12,394	14,133	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	3	1	3	3		
		延べ業務時間	時間	250	100	500	600		
		人件費計 (B)	千円	1,000	400	2,000	2,400	0	0
		トータルコスト(A) + (B)	千円	3,165	844	14,394	16,533	0	0
活動指標	ア	回	2		2	2			
	イ	枚	1		2	1			
	ウ	件				1			
対象指標	カ	戸	82	82	94	110			
	キ	団地	1		1	1			
	ク								
成果指標	サ	戸	2		10	16			
	シ	団地	5	5	6	7			
	ス	件				1			

事務事業ID	0653	事務事業名	市営住宅改善事業(下水道接続工事)
--------	------	-------	-------------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 公共下水道供用区域の拡大による、住戸への下水道接続工事の法的必然性に伴う。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 公共下水道供用開始区域は拡大しており、下水道接続工事の必要な住戸が増えている。今後は赤崎地区に拡張される予定があるので、その地区内の住宅付近の具体的な整備計画年度が明らかになった時点で本事業の計画を行う。また、平成13年度まで起債も可能だったが、14年度から起債がなくなった。なお、17年度までは、公営住宅総合建設費補助金を活用していたが、国庫補助金制度の変更により19年度より地域住宅交付金を活用している。また、20年度からは公営住宅事業債を借り入れている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 下水道接続工事に併せてトイレの洋式化も行われ、また、室内の段差解消等により、高齢者にも優しい住宅となり、快適な住環境になった。	

2. 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性  この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] ↘ 良質な住宅を整備・提供しているものであり、居住環境の快適性の向上に寄与しているものである。
	公共関与の妥当性  なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] ↘ 市営住宅は、市の所有建物であることから、下水道接続は、市が行うべきものである。市が借地している場合は、市が受益者負担金を支払っている。
	対象・意図の妥当性  対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↘ 事業は、市営住宅が滅失しない限り、法的義務もあり、公共下水道の供用開始区域は拡大に合わせて、住民生活の向上に寄与することから、今後、対象・意図とも拡大するが現時点では適切である。
有効性 評価	成果の向上余地  成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] ↘ 現時点では、供用開始区域内の下水道接続可能な住戸はすべて接続済みである。今後、下水道供用開始区域が拡大された場合は、接続住戸を増やすことにより現状の接続割合を維持する。
	廃止・休止の成果への影響  事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] ↘ 下水道法等に定める期間内での接続義務であり、また、市は率先して下水道普及率を向上させなければならない立場もあり、廃止・休止は不可能である。
	類似事業との統廃合・連携の可能性  目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↘ (具体的な手段, 事務事業)  <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] ↘ 下水道法等に定める期間内での接続義務であり、これ以外の方法はない。  <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない [理由] ↘
効率性 評価	事業費の削減余地  成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ できるだけ団地ごとに工事の集中化を図り、諸経費の軽減を図れば、事業費の削減は可能である。快適な住環境の提供には、現在の工法・工事内容(トイレの洋式化並びに水洗化)が適正である。また、受益者負担金の減額制度はなく、下水道を接続する場合の義務的経費であり、削減できない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地  やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ 必要最小限の人員で業務を遂行している。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地  事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] ↘ 市営住宅家賃算定において、下水道整備をした場合は、公営住宅法の基準により住宅使用料を見直している。

### 3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>市は、法を遵守する立場であるので、公共下水道接続工事は欠かせず、また、政策体系との結びつき、公共関与の妥当性、類似事業との統廃合も不可能であることから、供用開始区域内の市営住宅を下水道に接続するといったスタイルを現状どおり維持していく。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 ( <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>次年度は、新たに下水道供用開始とされる区域がないことから実施予定なし。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし</p>																						

(職名) 原則として施策の主管課長 (氏名)

### 4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	都市計画課長	
-------	--------	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい</p> <p><input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)</p> <p><input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 ( <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

### 5 最終評価結果

<p>(1) 行政経営推進会議等での指摘事項</p>
----------------------------